

令和元年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	07 都市整備 ~快適で便利なまち~		
	施策	25 道路 - 安全に機能する道路交通体系の充実を図ります -		
重点プロジェクト		美しくにぎわいのあるまちプロジェクト		
主管課	都市政策部 道路課	評価責任者	櫻井 進一	
		評価日	令和2年7月2日	
関連課	危機管理防災課、都市計画課			
目標	広域交通、市内交通の円滑化や災害時の安全性の確保を目指し、幹線道路や身近な生活道路の整備を計画的に進める。			
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 道路交通体系の充実</p> <p>○安全で快適な道路環境の確保に向け、広域幹線道路の整備については国や県、埼玉県警察、関係市町に積極的に働きかける。また、市内幹線道路を計画的に整備する。</p> <p>○生活道路については、日常生活の利便性や安全性の向上を図るため、道路改良を進めるとともに、緊急車両の活動に支障がなく、災害時に迅速に避難できるよう計画的に整備する。</p>			

2. 施策指標と達成状況

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	幹線道路整備延長					
		説明	市内を走る幹線道路の延長、安全で快適な道路整備を行う指標					
		単位	m					
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	活動	目標値	13,972	14,140	14,270	14,400	14,530	14,530
		実績値	13,880	13,880				
	指標 2	指標名	狭あい道路対策延長					
		説明	市内の狭あい道路の対策延長、日常生活の利便性・安全性の向上を図る指標					
		単位	m					
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	活動	目標値	2,048	2,048	2,128	2,208	2,288	2,288
		実績値	2,048	2,048				
	指標 3	指標名						
		説明						
		単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	活動	目標値						
		実績値						
	指標 4	指標名						
		説明						
単位								
年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
活動	目標値							
	実績値							
指標 5	指標名							
	説明							
	単位							
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
活動	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	600,817	513,954	1,966,321			
	人件費	143,608	122,979	128,382			
収入	特定財源	224,504	115,160	1,499,656			
	一般財源	519,921	521,773	595,047			

4. 評価対象年度の施策実施内容

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組	幹線道路整備事業	上沢勝瀬通り線の整備に向けて、用地取得が完了していない地権者との合意に向けて、物件調査業務委託を発注した。	上沢勝瀬通り線の合意形成を図るための方策検討が進んだ。このほか、市道幹線6号線については、歩道整備用地買収契約書を締結した。	道路橋りょう新設改良事業 上沢勝瀬通り線整備事業
取組	狭あい道路対策事業	ふじみ野市道の狭あい対策事業として、歩道整備や待避場所の整備を行う。	市道D-133号線の歩道整備に向けて、地権者との合意形成を図れるよう交渉を行っている。また、市道E-177号線の大井中学校前ネットフェンス新設工事が完了したことから、歩道整備工事の発注を行った。	道路橋りょう新設改良事業
取組				
取組				
取組				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	上沢勝瀬通り線については、地権者との合意形成に向けて、物件調査業務の委託の発注をした。
おおむね順調	このほかに、地権者のご理解とご協力をいただいたことから、市道幹線6号線につきましては、歩道整備用地買収契約書を締結、今後、歩道整備を実施する予定である。
行政資源の活用	狭あい道路対策につきましては、用地取得が必要となる事業で、地権者の意向を確認しながら進めていくため、計画どおりに進まない場合がある。引き続き、ご理解とご協力を得ながら用地取得に努める。なお、市道E-177号線については、大井中学校前の歩道整備工事を発注しており、また、大井中学校以外の整備区間においては、建物調査を実施している。
適切	
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		道路等管理事務		前年度の方向性 統合	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	07 都市整備 ~快適で便利なまち~			
	施策	25 道路 - 安全に機能する道路交通体系の充実を図ります -			
予算費目		一般会計 08土木費 01土木管理費 01土木総務費			
所管部課		都市政策部 道路課		評価責任者	山風呂 敏
事務事業期間		平成21年度~		評価日	令和2年7月2日
個別計画 根拠法令・条例等		道路法第32条、同法第28条、同法第16条			
事務事業の内容	事務事業の目的	市道に工作物、物件などを設ける者に対し、指導、許可、指示を行い、占用物件を適正に管理する。市で管理している道路線について、道路法第28条に基づき、道路台帳を整備し保管する。土地分筆登記等に伴う官民境界の確定、道路台帳に基づく、境界証明書を発行する。			
	事務事業の経緯	道路法第32条の規定に基づき、道路占用許可申請の事務手続きを行っている。県の指導により、昭和59、60、61年度の3カ年で、地方交付税の基礎数値資料として作成することとなり、昭和62年度以降は毎年度、新規路線は道路台帳を整備し、寄附採納等を受けた場合には修正を行っている。また、土地分筆登記等に必要な官民境界の確定事務を行っている。			
	事務事業の概要	道路法第32条の規定に基づき、道路管理者として道路を占用しようとする者に対し、必要な許可条件を付して許可を与え、占用者から占用料を徴収している。道路法第28条に基づき、道路管理者は、市で管理する道路線について、道路台帳を整備し保管する。土地分筆登記に伴う官民境界の確定のほか、道路台帳に基づく、境界証明書の発行する。道路広域行政に関する事務のほか、ボランティア団体の活動支援を行っている。			
	令和元年度の主な取組	道路占用者会議を実施して、占用者の工事実施時期の調整を図った。また、占用工事による影響範囲を含め本復旧の指示を行い、必要に応じて占用者と立会いを行い工事に関する苦情の抑制を図った。道路用地の帰属、寄付のほか、官民境界の確定により、道路法第28条の規定に基づき、道路台帳の整備、補正を行った。道路台帳に基づき、普通交付税などの基礎数値資料及び道路施設現況調査資料を作成を行った。土地分筆登記、土地売買などに伴う官民境界の確定、道路台帳に基づく境界証明書の発行を行った。道路広域行政の各協議会の活動への協力のほか、研修会等に参加し職員の知識向上を図った。官民が連携し、快適で美しい道路環境づくりの推進を図った。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	2.40	3.20	3.20
		人件費	19,431	25,530	25,530
	再任用職員	従事人数(人)	0.50	0.50	0.50
		人件費	1,841	1,922	1,922
	会計年度任用職員	従事人数(人)	2.00	2.00	2.00
	人件費	8,473	7,200	7,157	
	人件費計	29,745	34,652	34,609	
事業費	報酬	0	0	7,157	
	賃金	8,473	8,447	0	
	需用費	667	763	809	
	委託料	6,431	11,354	14,807	
	使用料及び賃借料	2,827	2,747	2,781	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	133	124	124	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	3,069	2,990	5,331	
	支出合計	42,872	53,877	58,461	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	16,697	11,618	30,983
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	21	20	26
	一般財源	26,154	42,239	27,452	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		229	369	236	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	道路占用申請件数		
	説明	占用物の老朽化により、更新が必要となるため、申請が増える予定。		
成果	単位	件		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	550	550	550
	実績値	488	378	
指標 2	指標名	市道の実延長		
	説明	開発道路及び私道採納により台帳整備していく必要がある。		
成果	単位	k m		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	297	298	299
	実績値	297	298	
指標 3	指標名	境界証明件数		
	説明	土地分筆登記、土地の売買に必要な証明となる。		
成果	単位	件		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	150	150	150
	実績値	148	159	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>道路法の規定に基づき、道路管理者として道路を占用しようとする占有者に対し、必要な許可条件を付して、許可を与え、占用料の徴収している。毎年度、当初に、各占有者から年間工事予定箇所を提出させ、工事箇所が重複する箇所については、工事時期を調整させるための道路占有者会議を開催している。占用工事の本復旧時には、必要に応じ占有者と立会いをし、占用工事による影響範囲までの本復旧を指示し、苦情の抑制を図っている。</p> <p>「令和元年度占有者会議」 令和元年5月14日（火）10時から開催</p> <p>民間開発による道路の帰属、私道寄附採納、用地買収によって、市の所有となった道路用地について道路法の規定に基づき、道路台帳の整備、修正を行っている。道路台帳を整備することにより、道路管理台帳として活用することができる。また、地方交付税、道路施設現況調査等の基礎資料ともなる。</p> <p>「令和元年度 道路台帳補正委託業務」 新規 9路線 0.47 k m</p> <p>土地分筆登記、土地売買に伴って、官民境界の確定が必要なことから、境界確認業務、境界証明書の発行を行っている。</p> <p>広域行政の協議会の研修会等に参加することにより、職員の知識の向上を図り、他の行政担当者との繋がりを持つことで、身近な課題等の解決に向けて相談が容易となり、事務の効率化も図れる。</p> <p>「協議会」 令和元年度末 6協議会</p> <p>官民が連携して、快適で美しい道路環境づくりを推進し、市が管理する道路をボランティアで清掃活動、美化活動を行っていただいている。市では、認定団体に対して、ゴミ袋・軍手等を支給し、団体が収集したゴミ等を回収している。</p> <p>「道路サポーターズ団体」 令和元年度末 9団体</p>
--------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	道路法の規定に基づき、道路管理者として、適正に市道を管理するために、必要な事務であるため
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	道路舗装補修事業			前年度の方向性	継続
重点プロジェクト	美しくにぎわいのあるまちプロジェクト				
施策体系	分野	07 都市整備 ~快適で便利なまち~			
	施策	25 道路 - 安全に機能する道路交通体系の充実を図ります -			
予算費目	一般会計 08土木費 02道路橋りょう費 01道路維持費				
所管部課	都市政策部 道路課	評価責任者	山風呂 敏		
事務事業期間	平成21年度~	評価日	令和2年7月2日		
個別計画 根拠法令・条例等	道路法、道路構造令				
事務事業の内容	事務事業の目的	市民等が安全で安心して道路を通行することができるよう、道路・水路・橋梁等の補修を計画的に行うことにより快適な道路網を築く。			
	事務事業の経緯	道路法により市が管理する道路については、年3回の一斉点検、道守からの情報、議会及び市民からの要望に基づき、損傷箇所や危険箇所を把握し、損傷及び老朽化の著しい道路・水路等の修繕・補修工事を計画的に実施する。また 市が管理する橋梁については、計画的に修繕を実施している。			
	事務事業の概要	破損及び老朽化の著しい道路・水路・橋梁等の修繕・補修工事を実施する。バリアフリー対策として、街路樹の根による歩道舗装隆起部分の補修を実施する。			
	令和元年度の主な取組	道路の老朽化に伴うクラックによる振動被害や歩行者の躓きを防止し、沿線住民の快適な生活環境の保全及び道路網の安全を確保した。歩道部の街路樹の根による段差を解消して、歩行者等の安全な通行を確保した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	2.30	1.80	1.80
		人件費	18,621	14,361	14,361
	再任用職員	従事人数(人)	0.50	1.00	1.00
		人件費	1,841	3,844	3,844
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	20,462	18,205	18,205	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	40,183	40,141	40,095	
	委託料	0	18,627	8,030	
	使用料及び賃借料	1,561	1,645	1,687	
	工事請負費	219,495	220,980	102,602	
	負担金、補助及び交付金	0	492	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	0	0	30		
	支出合計	281,702	300,089	170,649	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	24,083	22,460	26,357
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	113,600	54,500	0
		基金	0	0	0
		その他	646	0	0
	一般財源	143,373	223,129	144,292	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		1,255	1,951	1,241	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標	指標名	工事延長		
	説明	市が管理する道路修繕延長実績を毎年把握する。(令和2年度から指標3の道路舗装修繕面積へ) 指標をわかりやすくするため、舗装修繕面積に変更するものです。		
活動	単位	m		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	2,000	2,000	0
	実績値	1,612	1,516	
指標	指標名	修繕件数		
	説明	計画的に老朽化した道路を修繕することで、緊急的な道路等の修繕箇所数を減らし市民の安全を確保する。		
活動	単位	件		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	50	50	50
	実績値	72	69	
指標	指標名	道路舗装修繕面積(令和元年度から指標)		
	説明	市が管理する道路舗装修繕面積実績を毎年把握する。(令和元年度から指標)		
活動	単位	m ²		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	0	6,000	6,000
	実績値	0	9,966	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>道路舗装等修繕 東部地域 47件 西部地域 21件 緊急修繕 1件 委託料 市道舗装空洞調査業務委託 L=85km 12,026,300円・空洞現地確認調査 15箇所 6,460,300円 土木積算システム改修業務委託(元号修正) 140,400円 使用料及び賃借料 土木積算システム借上げ料 概要 積算システムを使用することにより、設計業務の効率化を図る。 賃借料 1,644,708円 工事請負費 市道改修工事等 概要 道路の老朽化に伴う舗装のクラックによる振動被害や歩行者の躓きを防止し、沿線住民の快適な生活環境の保全及び道路網の安全を図るため、道路改修、修繕を実施する。 市道F-54号線舗装修繕工事外路線・道路舗装修繕工事(単価契約) 70箇所 工事内容 道路舗装修繕工事外 工事請負額 101,735,362円 工事内訳は、内部資料参照 バリアフリー関係 概要 街路樹の根が樹木の成長とともに隆起している箇所を継続的に修繕することにより、歩行者の安全な通行を確保する。 市道幹線9号線街路樹伐採道整備 街路樹伐採及び歩道整備 1箇所 工事請負額 464,400円 市道C-268号線外樹木隆起箇所修繕 樹木隆起箇所修繕 19箇所 工事請負額 1,958,000円 負担金 藤間北野歩道橋定期点検 ふじみ野市負担分(1/2) 491,624円 湧次線越 福岡橋耐震補強工事(上部工) 工事請負額 54,589,680円 福岡橋護岸復旧工事 工事請負額 62,232,840円</p>
--------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	道路は、市民生活に欠かせないものであることから、適切な維持管理を行っていく必要がある。クラック等の損傷は早期に部分的な補修や、計画的に道路舗装修繕工事を実施することで、市民の安全・安心の確保ができ、また、舗装の長寿命化を図るためにも必要な事業であるため
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		道路街路樹緑地帯管理事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	07 都市整備 ~快適で便利なまち~			
	施策	25 道路 - 安全に機能する道路交通体系の充実を図ります -			
予算費目		一般会計 08土木費 02道路橋りょう費 01道路維持費			
所管部課		都市政策部 道路課	評価責任者	山風呂 敏	
事務事業期間		平成21年度~	評価日	令和2年7月2日	
個別計画 根拠法令・条例等		道路法			
事務事業の内容	事務事業の目的	歩道等に植えられている街路樹を計画的に適正管理することにより、良好なまち並景観と快適な道路環境を保全する。			
	事務事業の経緯	都市計画道路等の築造、土地区画整理事業により造られた道路の歩道等には、潤いとまち並景観の向上を図るため、各所に渡って街路樹が植えられている。街路樹は毎年枝が成長するため、枝を整枝することで良好なまち並景観の保全を図る。			
	事務事業の概要	市が管理に係る道路に植えられている街路樹の管理を継続して行う。さらに、植えられてから経年経過した老木の樹木診断を行い、適正管理することで、市民の安心・安全の確保を図る。			
	令和元年度の主な取組	歩道等に植えられている街路樹の剪定及び老木の樹木診断を実施して、必要に応じては伐採を行い、良好な景観と快適な道路環境を保全した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	2.80	2.30	2.29
		人件費	22,669	18,350	18,270
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.50	0.50
		人件費	0	1,922	1,922
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		22,669	20,272	20,192	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	231	261	326	
	委託料	34,258	31,005	37,345	
	使用料及び賃借料	51	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	22	16	66		
支出合計		57,230	51,554	57,929	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	12	0	0
一般財源		57,218	51,554	57,929	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		501	451	498	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	街路樹剪定業務委託		
	説明	市が管理する道路等に存する街路樹を適正に管理し、毎年剪定、伐採本数の実績を把握することで計画的に実施する。		
活動	単位	本		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	668	668	600
	実績値	556	603	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>道路街路樹緑地帯管理事業は、市が管理する道路・歩道等に存する街路樹及び緑地帯を適正に管理する事業である。</p> <p>街路樹については、街路樹種ごとの剪定期び剪定の程度を把握し、樹形を維持する事を軸に計画的に剪定を実施した。また、緑地帯については、低木の剪定、草取り等を実施し、良好な景観と快適な道路環境を整えた。</p> <p>近年は、街路樹の老木化の進行が課題となっており、枯損による倒木の恐れを未然に防止するため、樹木医による樹木診断を行い、枯損木の伐採を実施し、道路を安心安全に利用できるようにした。また、台風、強風による倒木についても道路交通の妨げにならないよう、早急に対処した。</p> <p>令和元年度は、高木剪定が583本、樹木診断が12本、枯損木、交通支障に伴う伐採を20本実施した。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	道路の景観を保ちつつ、成長した枝葉が起因する信号機や道路標識の見通しの確保、害虫駆除、落葉対策等を講じるために必要な事業であるため
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		道路等営繕保守事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	07 都市整備 ~快適で便利なまち~			
	施策	25 道路 - 安全に機能する道路交通体系の充実に図ります -			
予算費目		一般会計 08土木費 02道路橋りょう費 01道路維持費			
所管部課		都市政策部 道路課	評価責任者	山風呂 敏	
事務事業期間		平成21年度~	評価日	令和2年7月2日	
個別計画 根拠法令・条例等		道路法、ふじみ野市法定外公共物管理条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	生活道路の維持、補修また、水路敷等の維持管理を行い市民の安心・安全を確保する。			
	事務事業の経緯	市道の管理者として、軽微な道路施設の補修や応急修理を行い生活環境の維持及び安全を確保している。			
	事務事業の概要	市道、水路敷等の維持、補修を行う。また、各課からの業務依頼を受けて公共施設の維持補修を行う。			
	令和元年度の主な取組	台風前の道路側溝等の清掃、台風時の土嚢設置、台風後の路面清掃、路面凍結対策、市内の道路の簡易的な補修のほか、水路敷、公園などの草刈りを実施した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	3.80	3.80	3.80
		人件費	30,765	30,317	30,317
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		30,765	30,317	30,317	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	3,066	3,142	4,553	
	委託料	41,017	47,141	41,118	
	使用料及び賃借料	4,782	4,746	7,333	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	500	539	721	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	50,309	16,512	2,758		
支出合計		130,439	102,397	86,800	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	130	0
一般財源		130,439	102,267	86,800	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		1,142	894	747	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	苦情対応件数		
	説明	修繕等の対応の必要があるため		
活動	単位	件		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	500	500	500
	実績値	709	635	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>道路等営繕保守事業は、市内約297kmの市道や水路の管理を実施しているものである。管理は、職員による簡易な補修及び路面清掃や側溝清掃、道路用地に係る除草等の維持管理を実施するものである。台風の上陸が予想される前に側溝清掃を行い、台風後も路面及び側溝清掃を実施した。また、冬季における路面凍結対策、近年では、道路の植樹マスのほか水路敷など生える草の生育が早くなっていることから、除草の回数を増やし対処したものである。</p> <p>市道の管理者として、軽微な道路施設の補修や応急修理を行い生活環境の維持のほか、安全安心な道路を確保した。また、職員で対応できない市民の苦情要望については、迅速に対応できるよう修繕契約業者との連携も図ったものである。</p> <p>令和元年度営繕保守委託の実績 道路等営繕保守（東部地区） 件数 19件 道路等営繕保守（西部地区） 件数 20件</p> <p>道路清掃等で発生した土砂などの廃棄物を処分</p> <p>台風第19号による災害対応（道路清掃等）を実施</p> <p>浸水被害軽減対策 新たに排水ポンプ車（2t）排水能力 5 m³分を1台配備 既に配備している排水ポンプ車（2t）2台については、排水ポンプを追加配備 排水能力 5 m³分 10 m³分へ向上 水中ポンプ用エンジン発電機が1台故障したため、災害見舞金を活用して、新たに1台購入</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	修繕営繕ともに複数の業者と単価契約を締結することにより、市内全域をカバーし、迅速な維持管理の対応が可能となるため
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		道路橋りょう新設改良事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	07 都市整備 ~快適で便利なまち~			
	施策	25 道路 - 安全に機能する道路交通体系の充実を図ります -			
予算費目					
所管部課		都市政策部 道路課		評価責任者	山風呂 敏
事務事業期間		平成21年度~		評価日	令和2年7月2日
個別計画 根拠法令・条例等					
事務事業の内容	事務事業の目的	市民等が安全で安心して道路を通行することができるよう、道路の新設・拡幅・歩道の整備、側溝の整備を計画的に行う。また、渋滞解消のための交差点改良も計画的に実施する。			
	事務事業の経緯	道路は国の産業基盤の骨格を有するもので、道路新設・拡幅改良、歩道整備及び側溝未整備路線の整備を計画的に行うことで、交通の利便性を図るとともに市民生活の向上に資する。			
	事務事業の概要	総合振興計画3か年実施計画、都市計画マスタープランに基づき道路整備計画を作成し、計画的に道路改良工事等を行う。			
	令和元年度の主な取組	安全で快適な住環境を充実させるため、歩道整備や道路改良工事を実施した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.90	1.90	
		人件費	15,383	15,159	
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	
		人件費	0	0	
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	
	人件費	0	0		
人件費計		15,383	15,159	15,159	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	64	63	91	
	委託料	7,113	21,841	21,642	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	54,275	17,488	95,839	
	負担金、補助及び交付金	532	5,793	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	4,706	60,531	1,209,628		
支出合計		82,074	120,875	1,342,359	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	29,832	23,144	44,770
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	3,203	3,288	14,236
		地方債	0	0	23,300
		基金	0	0	0
		その他	0	0	1,025,309
一般財源		49,039	94,443	234,744	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		429	826	2,020	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	改良整備延長		
	説明	道路を拡幅整備し、側溝等を布設して道路を築造する。 (平成30年度までの指標とする。)		
活動	単位	m		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	200	0	0
	実績値	510	0	
指標 2	指標名	幹線道路整備延長		
	説明	幹線道路整備延長の実績を毎年、把握する。		
活動	単位	m		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	0	14,140	14,270
	実績値	13,880	13,880	
指標 3	指標名	狭あい道路対策延長		
	説明	狭あい道路対策延長の実績を毎年、把握する。		
活動	単位	m		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	0	2,048	2,128
	実績値	2,048	2,048	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>道路新設改良工事（業務委託・工事請負・用地取得・補償費等） 概要 安心安全で快適な住環境を充実させるため、歩道整備や新規に設置する道路の整備を計画的に実施する。</p> <p>委託料 5,800,890円 なお、繰越明許設定 13,797,000円（市道E-177号線・市道幹線5号線） 工事請負費 道路新設改良工事 市道H-44号線側溝整備工事 外 3件 工事請負額 14,930,300円 工事内訳は、内部資料参照 なお、繰越明許設定 29,445,000円（市道E-177号線・幹線5号線歩道整備工事） 道路反射鏡設置工事 新設 6基 工事請負費 2,346,760円 道路標識設置工事 1式 工事請負費 112,200円 道路照明灯設置工事 新設 2基 工事請負額 99,000円 隅切用地・歩道用地取得 3筆（26㎡）用地取得費 1,922,569円 なお、事故繰越設定 326,817円 市道幹線5号線歩道拡幅用地 2筆（66㎡）用地取得費（前金払） 5,620,000円 市道幹線6号線歩道拡幅用地 1筆（36㎡）用地取得費（前金払） 4,878,200円 なお、繰越明許設定 29,893,000（市道幹線5号線・市道幹線6号線） 補償費（用地取得に伴う補償金）（前金払） 17,163,748円 電柱等移設補償費 145,823円 なお、繰越明許設定 41,764,000円（市道幹線5号線・市道幹線6号線） 繰越明許（平成30年度 令和元年度） 委託料 市道E-177号線路線・用地測量設計等業務委託料 委託金額 16,039,960円 補償金 市道E-177号線道路拡幅事業に伴う物件移転補償費（大井中学校） 補償費 29,588,188円 道路新設改良工事により、道路排水機能の向上を図り、また、歩行者等の安心安全を確保した。</p>
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	安心安全で快適な住環境を充実させるため、計画的に歩道整備や新規に設置する道路の整備が必要であるため
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		上沢勝瀬通り線整備事業		前年度の方向性	
				継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	07 都市整備 ~快適で便利なまち~			
	施策	25 道路 - 安全に機能する道路交通体系の充実を図ります -			
予算費目					
一般会計 08土木費 04都市計画費 01都市計画総務費					
所管部課		都市政策部 都市計画課		評価責任者	小川尊志
事務事業期間		平成25年度~		評価日	令和2年7月3日
個別計画根拠法令・条例等					
都市計画法、道路法					
事務事業の内容	事務事業の目的	上沢勝瀬通り線は、ふじみ野駅東側地域に位置し、本市及び富士見市の2市にまたがる幹線道路である。現状で幅員狭小かつ一方通行路である約140m区間について、通学児童の安全確保及びふじみ野駅へのアクセス等交通利便性向上のために整備を推進する。			
	事務事業の経緯	県道東大久保ふじみ野線と県道ふじみ野朝霞線を結び、ふじみ野駅東口に接続する道路として早期交互通行が望まれていることから整備を行うものである。			
	事務事業の概要	都市計画道路上沢勝瀬通り線の整備を進める。 ・用地取得対象：7件 ・道路設計及び整備工事			
	令和元年度の主な取組	・用地買収が完了していない残り3件のうち1件と合意形成を図るための方策検討を進めた。 ・道路管理者である埼玉県、交通管理者である埼玉県警察との協議を進めるため、設計を実施した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.40	0.50	1.00
		人件費	11,335	3,989	7,978
	再任用職員	従事人数(人)	0.30	0.10	0.50
		人件費	1,105	385	1,922
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		12,440	4,374	9,900	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	58	0	100	
	委託料	2,036	3,465	13,000	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	1,488	297	1,500	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	95,449	5	354,005	
支出合計		111,471	8,141	378,505	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	36,410	0	192,775
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	141,900
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		75,061	8,141	43,830	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		657	71	377	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	用地取得		
	説明	上沢勝瀬通り線事業用地の取得を行う。		
活動	単位	件		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	3	1	2
	実績値	1	0	
指標 2	指標名	設計業務委託		
	説明	道路設計を行うための委託業務を発注する。		
活動	単位	件		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	1	1	1
	実績値	1	1	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【令和元年度事務事業の実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地取得対象者の残りの3件のうち1件との合意に向けて、物件調査業務委託を発注した。 ・埼玉県、埼玉県警と県道の交差点形状について協議を行うための図面作成の業務委託を発注した。 <p>【事務事業の実施効果】</p> <p>上沢勝瀬通り線が整備されることにより、県道東大久保ふじみ野線と県道ふじみ野朝霞線が結ばれるとともに、幅員も狭く一方通行で住宅も建ち並ぶ現状を解消される。また、通学児童の安全確保や周辺の生活道路へ混入している通過車両の減少、また駅へのアクセス性の改善やふじみ野駅東側地域の活性化が図られる。</p>
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	残り3件の地権者から用地買収をしたのちに、交通の安全かつ、利便性を考慮した道路整備を実施する予定。
中長期的方向性	
完了	